



PORSCHE

22. Jan. 2018

Vol.6/18

ヴァルター・ロールとの銀婚式を祝う

25年間ポルシェと深く関わってきたバイエルン出身のラリー世界チャンピオン

ポルシェ AG (本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：オリバー・ブルーメ) とヴァルター・ロール (レーゲンスブルク出身、70 歳) は、ちょうど 25 年前に契約を交わしました。それ以来、両者は深い絆で結ばれてきました。ポルシェは当時、4 回のモンテカルロ ラリーの覇者で 2 回のラリー世界チャンピオンであったロールに、開発者およびアンバサダーとしての協力を求めました。ヴァルター・ロールは、1993 年より以前に、すでにポルシェとの重要な関係を築いていました。彼が最初に購入した車は中古のポルシェ 356 でした。その後も、ロールのプライベートコレクションにはポルシェ 911 が常にリストアップされていました。1977 年には彼の所有する 911 ラリーカーがフィアットチームとの契約の道を開き、1981 年にはポルシェ 924 でドイツ・ラリー選手権に出場しました。

ロールはすでに卓越したラリーキャリアを備えていたにもかかわらず、ポルシェ 959 スーパースポーツカーとポルシェ 964 の 4 輪駆動テクノロジーの開発に協力しました。1993 年の初めにアンバサダーおよび開発ドライバーとして契約を交わした際に、ひとつの条件がありました。それは、元会長の Dr.ヴェンデリン・ヴィーデキングに対して、「新開発について常にありのままの真実を話す」ということでした。それ以来、ロールは、959、カレラ GT、918 ハイブリッド、911 および GT の全バージョン、ポルシェ パナメーラなど、数々のマイルストーンの立ち上げの際にその開発とチューニングに携わりました。彼は今日に至るまでかつての取り決めを守ってきました。ロールは常に自分が考えていることをありのままに話します。「ポルシェで過ごす間に重要なことを学びました。限界に達するために我々がスポーツカーに求める最高のハンドリング性能は、プロのドライバーが必要とするものを超えています。理想的なスポーツカーは一般ドライバーにも運転しやすいものでなければなりません」。ポルシェ AG 取締役会会長のオリバー・ブルーメは次のように話します。「アンバサダーおよびアドバイザーとして 25 年間にわたってポルシェに誠意を尽くしてくれただけでなく、数々の格言を残してくれたヴァルター・ロールに感謝いたします。私は、次の言葉が特に好きです。“ポルシェ 911 のない車庫は暗い穴倉にすぎない”」。

<本件に関する読者からのお問い合わせ先>

ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911

ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.com/japan/>